

# 地本業務ニュース

## JR 東海 労・静岡 地方本部

NO.8 2024年6月6日発行者：JR東海 静岡地方本部 半場弘恭

### 「車側カメラによるワンマン運転の実施」 について会社説明を受ける

本日、地本は会社の進める「業務改革」の一環における「車側カメラによるワンマン運転の実施について」業務委員会において説明を受けました。説明内容は別紙のとおりです。主な議論は以下の通りです。

会社：315系4両編成によるワンマン運転の拡大をする。実施時期と区間は令和9年3月に御殿場線・東海道線沼津～三島間（御殿場線直通列車）令和10年3月東海道線浜松～豊橋間とする。それによる要員体制の見直しを行う。

組合：御殿場線における2両ワンマンと4両ワンマンが混在するのか。混在するならば停止位置不良が発生して、列車後部がホームを外れてドアを開けてしまった場合、旅客の安全を脅かすことになるがだいじょうぶか。

会社：基本的に4両ワンマンだけになる予定である。車両に「誤開扉防止装置」が整備されているので安全には配慮している。

組合：運賃収受についてはどうなるのか。

会社：全ドア開扉するので乗務員が収受しない。有人駅は駅対応、無人駅は「屋外型自動券売機」や乗車駅証明発行機を設置し、対応できない場合はインターホンにより案内を行ない、旅客自身で精算していただく。

組合：旅客自身の精算とは自己申告と言うことか。

会社：そうなる。

組合：旅客のモラルで対応するのか。

会社：無人駅等特別改札などを考えている。

組合：津波などの自然災害の対応は車掌が乗務しておらず、運転士だけの対応になるが、どう考えているか。

会社：運転士ひとりになるため放送強化など運転士の対応のバージョンアップを考えている。

組合：はいそうですとはならないのでこれから先追求していく。

会社：まだまだこれからなので勉強していくところである。

以上

令和6年6月6日  
静岡支社

### 車側カメラによるワンマン運転の実施について

当社は令和4年度から業務改革の取り組みを全社的に進めているところであり、これまでに令和5年春ダイヤ改正以降、高山線、太多線、紀勢線、参宮線、身延線で2両ワンマン運転の実施列車を拡大した。また、令和8年春には飯田線で2両ワンマン運転を拡大する予定である。

これらの取り組みに加え、以下の通り新たに車側カメラによるワンマン運転を実施することにより、安全確保は大前提としつつ、より効率的な業務運営体制の構築を図ることとする。

#### 1. 実施内容

車側カメラによるワンマン運転を実施し、現在車両投入している315系4両編成にて導入する。これに伴い、乗務員関係各所の要員体制も見直す。

#### 2. 主な実施線区、開始時期

R9.3 御殿場線・東海道線（三島～沼津）

R10.3 東海道線（豊橋～浜松）

※開始時期についてはいずれも予定

#### 3. その他

- ・本施策による要員効果については別途提示する。
- ・東海鉄道事業本部管内の以下の線区においても本施策によりワンマン運転列車を拡大する予定である。

【参考】 R8.3 関西線、武豊線

R9.3 東海道線（大垣～米原）

以上

